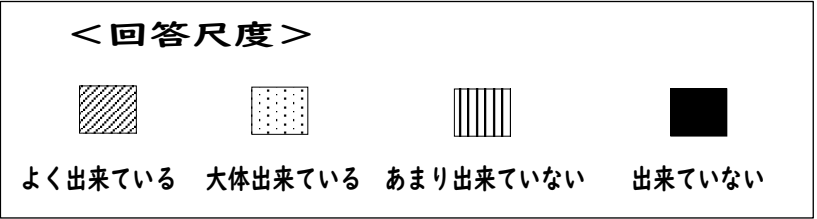


# 令和7年度（前半）

## 【学校評価アンケート結果について】

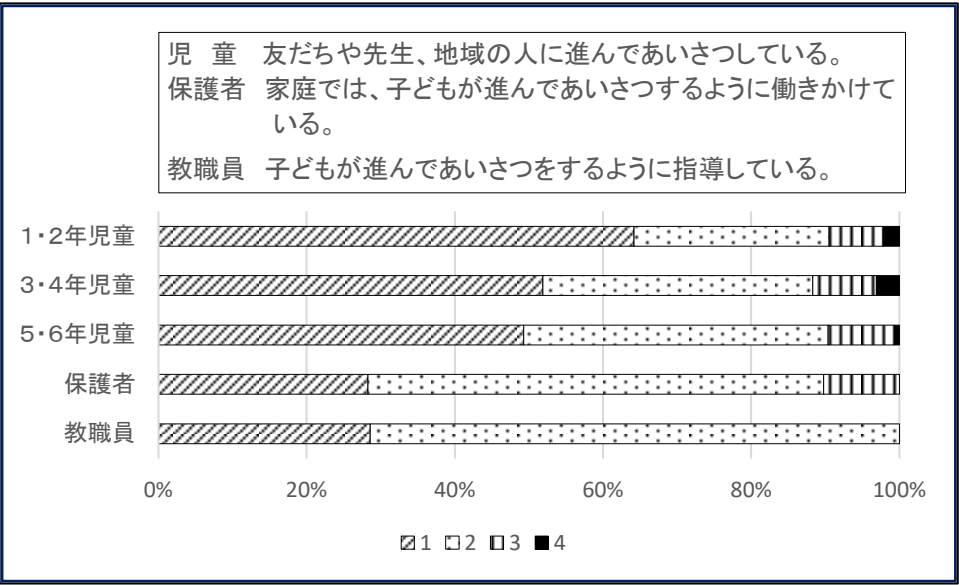
9月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。



このアンケートでは、本校の「目指す子ども像」に照らして、児童・保護者・教職員の視点から評価することを通して、日々の学校教育活動の成果と課題を見つめ、今後の改善の指針とさせていただきます。また「家庭・地域での子どもの様子」について調査することを通して、家庭・地域と学校との連携を深めていきたいと存じます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

### 自分から素敵なあいさつができる子

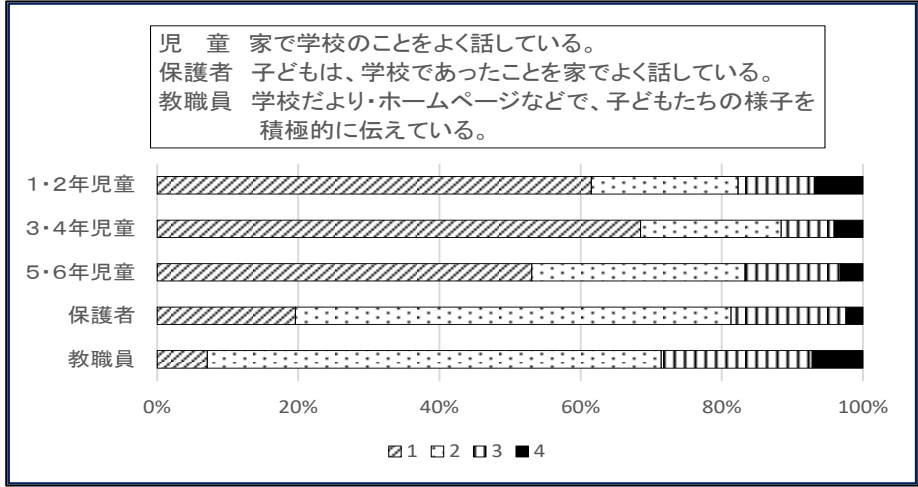
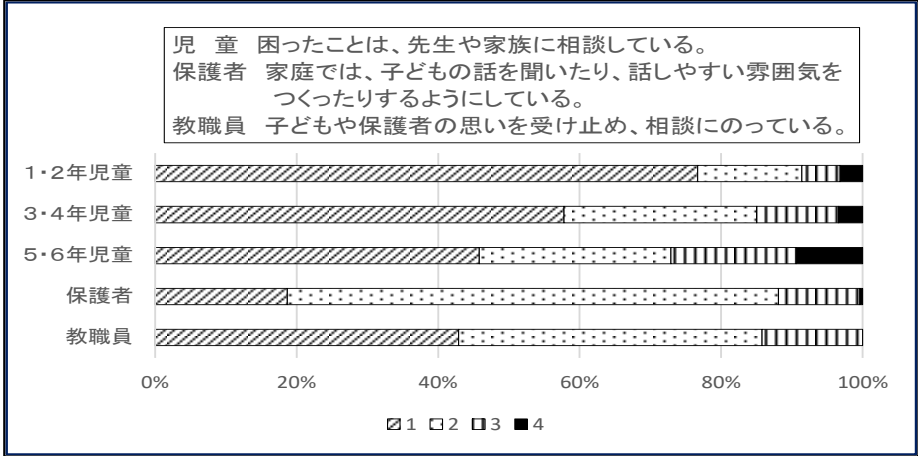
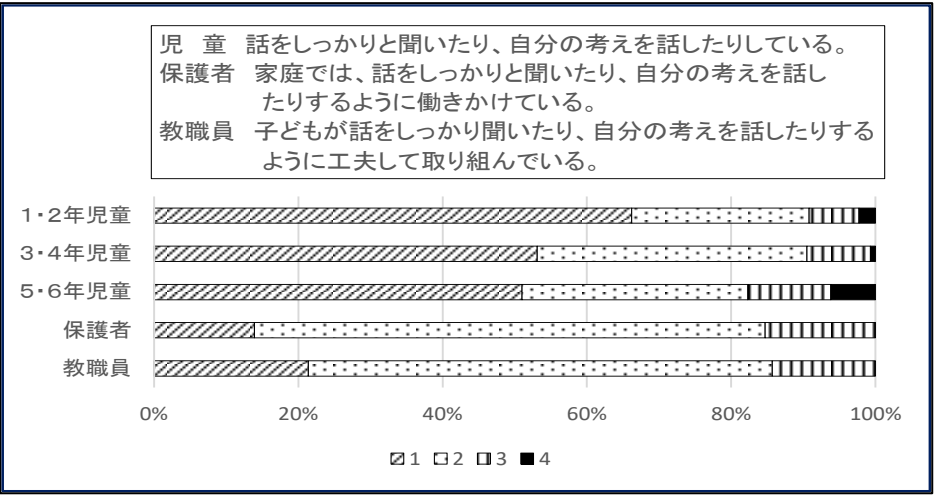
『あいさつしている』という項目では、児童は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて85%以上、保護者の方も90%以上の肯定的な回答がありました。毎朝校門で児童と教職員が校門であいさつを続けていることで、自分からあいさつしようとする児童が増えています。学校外であいさつしている姿が少ないという課題に対しては、教職員間で定期的に児童のあいさつについても話し合ったり、また学校のリーダーである高学年がどんなあいさつが素敵なのか、学年や学級であいさつについて考える機会はとったりしています。今後もより素敵なあいさつが広がるように児童・教職員共に自分から素敵なあいさつができるよう取組を進めていきたいと思います。今後ご家庭や地域で、子どもたちが自分から進んで素敵なあいさつができるような働きかけをよろしくお願いいたします。



### 相手の思いを受け止めながら聞くことができる子

『話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりしている』では、児童や保護者は80%以上「よく出来ている」「大体出来ている」という肯定的な回答でした。今後も的確に自分の考えを伝えることができるように日頃から学級では、自分の思いや考えを話しやすい雰囲気をつくっておいたり、話し方を授業で学んだり、自分の考えをノート等に整理する習慣を身につけたりして、児童が自信をもって自分の考えを話せるよう働きかけていきたいと思います。また、教師も子どもの話を目と心で聴き、子どもが自分の考えを進んで話せるよう力を引き出していききたいと思います。「話を聞く」については、たくさんの児童が聞くことはしています。今後も繰り返し聞くことの大切さを全校集会や授業で伝えていきます。

『困ったことは先生や家族に相談している』や『家で学校のことをよく話している』の項目では、児童は70%以上、保護者は、85%以上肯定的な回答でした。しかし、困ったことを先生や家族に話せていないと思っている児童は高学年に多い傾向です。学校では、子どもに寄り添ったり、話しやすい雰囲気をつくったりすることで子どもが本当の自分を出せる環境づくりに努めます。また「今日楽しいことあった？」等良いことに目を向けた問いかけを行うことで、子どもが相談しやすく話しやすい環境づくりを構築していきたいものです。

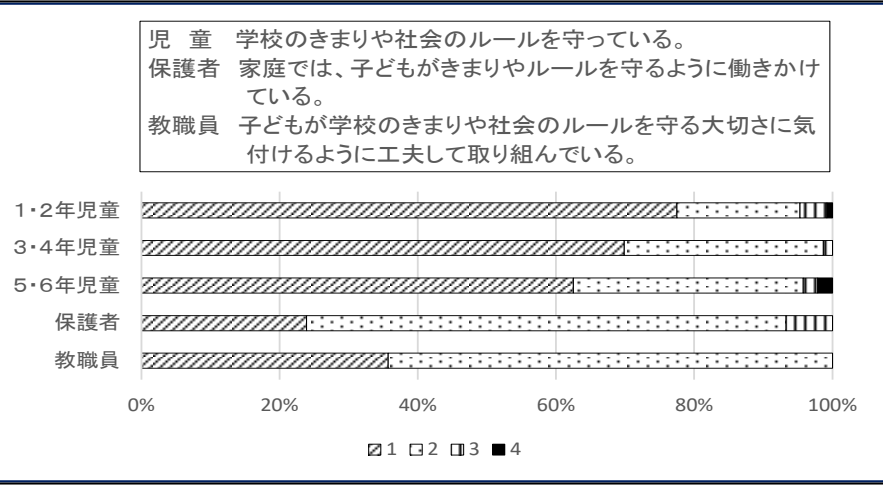
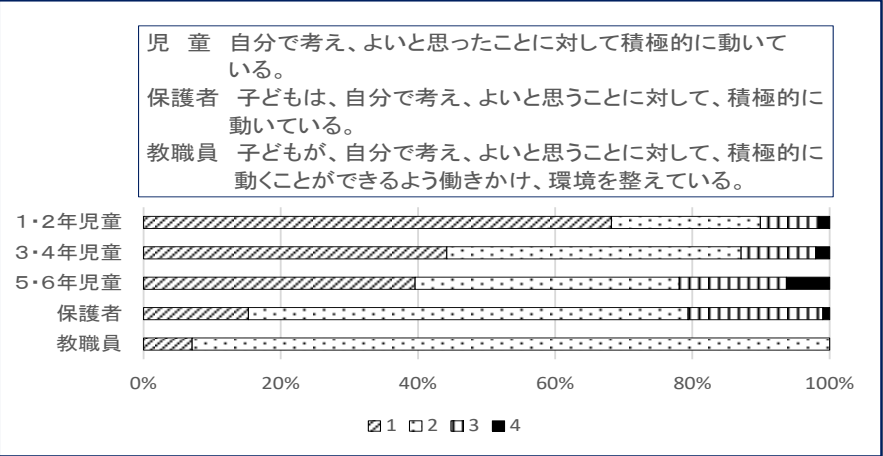
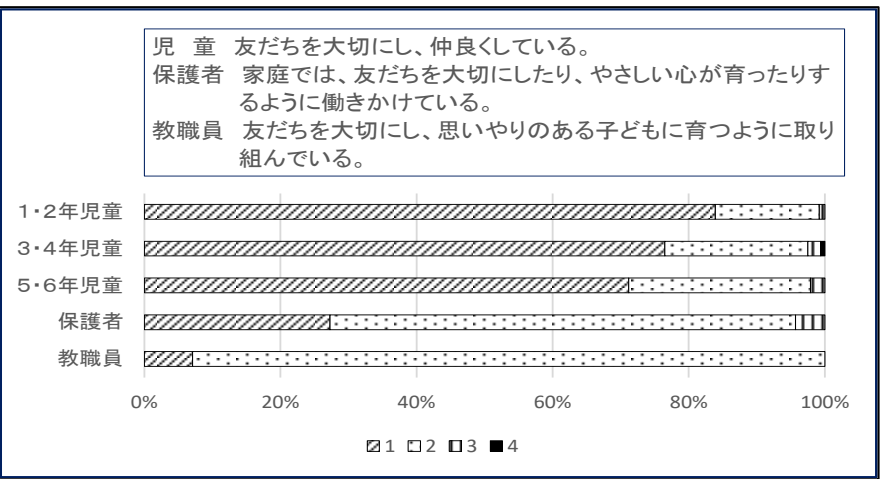


### 自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動き出せる子

『友だちを大切にし、仲良くしている』という項目では、児童は「よく出来ている」「大体出来ている」という肯定的な回答が95%以上ありました。保護者や教職員も95%以上であり、昨年度のアンケート結果よりも良くなっていました。授業や人権教育の取組を中心に子どもたちがお互いのよさやちがいの魅力に気付くような取組を進めています。これからも子どもたち一人一人、自分が大切にされている実感がわくような環境作りに努めていきます。

『自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動いている』という項目では、肯定的な回答の児童75%以上、保護者は、80%を少しきっておりました。学校では、児童会活動で子どもの「やりたい」を大切にしている取組と子どもが活躍できる場を増やし、子どもが責任をもって活動できるような環境を整えていきます。

『学校のきまりや社会のルールを守っている』では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて、90%以上肯定的な回答がありました。安心・安全な生活を送るためには、きまりやルールを守ることが重要です。安心・安全な環境を整えることで、子どもたちが自信をもち「よいと思うことに対して積極的に動く」ことが増えていくと想像します。今後もご家庭では、子どもがきまりやルールを守っていけるよう働きかけていただけるとありがたいです。

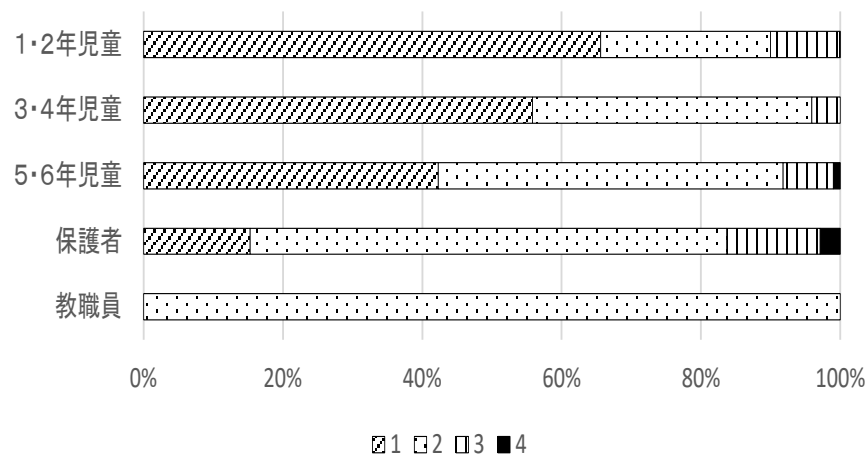


### 学び続けることができる子

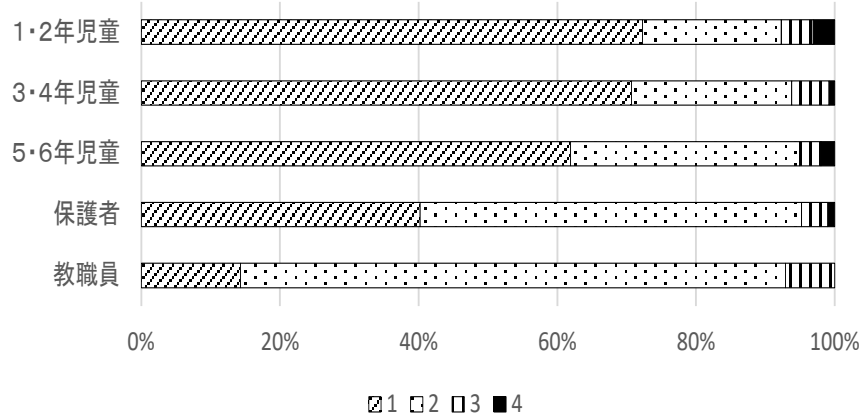
『学校の勉強がよくわかる』という項目では、児童は「よく分かる」「大体分かる」で90%以上、保護者の方は80%以上肯定的な回答をしていました。今後も子どもたちがワクワクし、学ぶ楽しさを実感できる授業作りを意識して、取組を進めていきます。また、「対話型の授業」を通して言語活動の充実を進めることで、児童同士が考えを交流し合い、主体的に問題解決している姿が増えてきました。これからも児童が自走して学び合う集団づくり、授業改革を進めていきます。

『学校に楽しく通うことができる』という項目では、児童は「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせて90%以上、保護者の方は95%以上「楽しい」と感じているようです。子どもたちは児童会活動やたてわり遊び等学年をこえて活動したりすることで学校生活を楽しむ児童は増えてきています。今後もワクワクが止まらない魅力あふれる桂東小学校を目指し、子ども主体のやりたいことが実現「できる」学校づくりを進めていきます。

児 童 学校の勉強がよくわかる。  
保護者 学校は、子どもにわかりやすい授業を進めている。  
教職員 一人ひとりに分かる授業を工夫している。



児 童 学校に楽しく通うことができる。  
保護者 子どもは、楽しく学校に通うことができる。  
教職員 子どもたちが楽しく学校に通うことができるように工夫している。

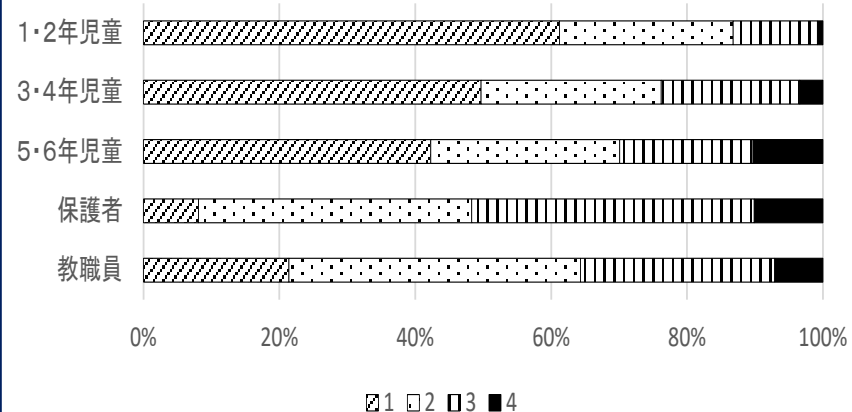


### 学び続けることができる子

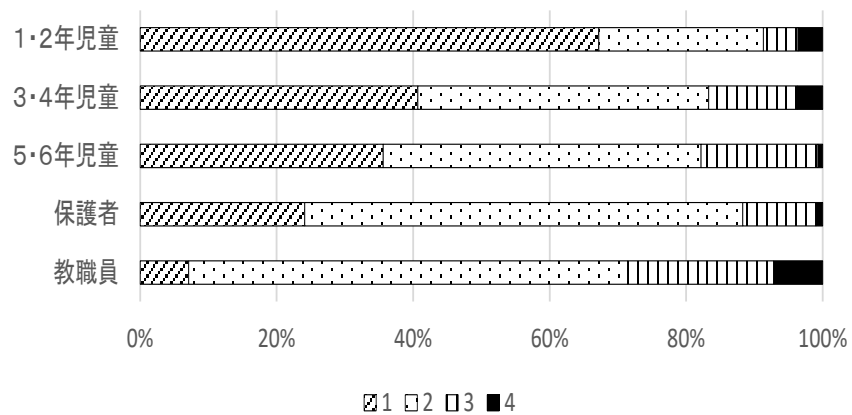
『自分から進んで読書に取り組んでいる』という項目では、児童の肯定的な回答は70%以上ありました。保護者の方の肯定的な回答は、50%をきっていました。学校では、図書室を利用する際に図書館司書が児童に本の読み聞かせをしたり、読書週間を中心に子どもたちに読書の興味・関心を高める取組をしたりしてきました。しかし、アンケート結果から見て、自分から進んで読書をしようとする姿にはまだまだつながっていないということが分かります。今後、学校全体での読書の取組を行ったり、学級で本の読み聞かせをしたり、お話を映像で見せたり、お話を音声で聞かせたり工夫することで本に対する興味を高めたいと思います。

『家庭学習に取り組んでいる』という項目では、児童・保護者・教職員共に80%以上の肯定的な回答がありました。進んで家庭学習に取り組めるようになるためには、宿題の内容や量、提出期限を工夫し、児童が家庭学習に取り組みやすくなるようにしていきたいです。ご家庭と学校が協力しながら宿題・家庭学習を進めていきたいです。よろしくお願いします。

児 童 自分から進んで読書に取り組んでいる。  
保護者 家庭では、子どもに進んで本を読むように働きかけている。  
教職員 本が好きな子どもに育つように工夫して取り組んでいる。



児 童 宿題で家庭学習に進んで取り組んでいる。  
保護者 家庭では、宿題や家庭学習の習慣が身につくように声をかけたり、励ましたりしている。  
教職員 宿題を家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。

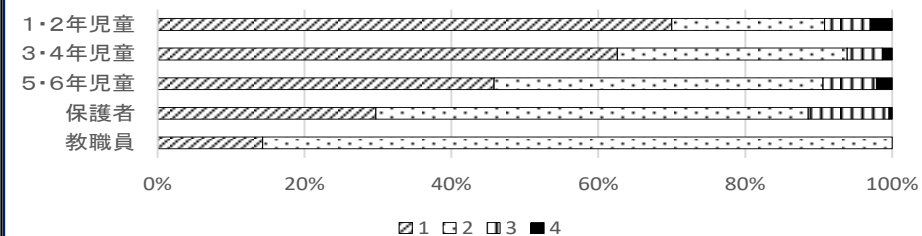


### 家庭・地域での子どもの様子

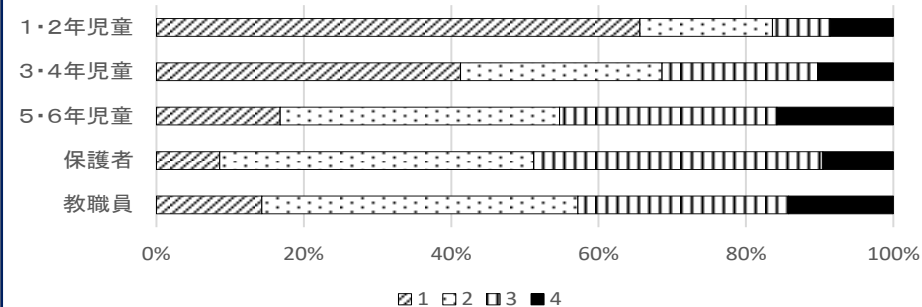
『早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している』という項目では、「よく出来ている」「大体出来ている」が児童は90%以上肯定的な回答でした。また、保護者の方も85%以上肯定的な回答でした。学校では、今後も保健便りや給食便り「もぐもぐ通信」で児童に健康的な生活習慣について考える機会を設けていきます。子どもも大人も、毎日体調が良く、生き生きと生活したいものです。ご家庭でも生活習慣について話題にしてもらえるとありがたいです。

『PTA 行事や地域行事に進んで参加している』という項目では、児童は「よく出来ている」「大体出来ている」の肯定的な回答は低学年・中学年・高学年で差が見られました。今年度の9月に実施された「桂東夏まつり」や10月に実施された「桂東学区民体育祭」では、たくさんの児童が参加していました。子ども達が今後も地域行事等に参加することを通して、地域とのつながりを深め、ご家庭・地域・学校が一体となって桂東小の子どもたちを育てていきたいです。また、保護者・地域・教職員が子どもを中心にし、互いを思いやり、たっぷりの愛情でつながる温かいチームとなって、子ども達の健やかな成長を育んでいきたいものです。

児 童 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している。  
保護者 家庭では、早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身につけられるように働きかけている。  
教職員 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけた生活ができるように取り組んでいる。



児 童 PTA行事や地域行事に進んで参加している。  
保護者 子どもは、PTA行事や地域行事に進んで参加している。  
教職員 PTA行事や地域行事に協力しようとしている。



### 総括

全体的な傾向として、高学年の「できている」という実感がアンケートの内容によっては低いところがありました。しかし、項目によっては、肯定的な回答が高いところもあり、高学年は楽しく学校に通いながら、小学校のリーダーとして学校生活を送ることができています。また、児童会活動等でも主体的に前向きに活動を行っています。低・中学年も高学年の姿を見本とすることで、自己肯定感を高め「できている」「できた」という充実感・達成感をもてるようにしていきたいと思っています。自由記述欄では、学校に対する期待や子ども達の成長を願ったたくさんの温かいお言葉をいただき、ありがとうございました。